

食品安全委員会の7月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第338回 7月1日（木）

(1) 平成21年食中毒発生状況の概要について厚生労働省から報告

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(1品目)	ピコリナフェン
---------	---------

(3) 食品安全関係情報（6月7日～6月18日収集分）について事務局から報告

第339回 7月8日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等(3品目)	除草剤グリホサート耐性ワタGHB614系統と除草剤グルホシネート耐性ワタLLCotton25系統とチョウ目害虫抵抗性ワタ15985系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種(既に安全性評価が終了した2品種を除く。)、VAL-No. 2株を利用して生産されたLーバリン、アシルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統
----------------	---

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (2品目)	アミトロール、ペンディメタリン
動物用医薬品専門 調査会(1品目)	モネパンテル
遺伝子組換え食品 等専門調査会 (2品目)	除草剤グリホサート耐性ピマワタMON88913系統、チョウ目害虫抵抗性ピマワタ15985系統、HIS-No. 1株を利用して生産されたLーヒスチジン

(3) 食品安全委員会の6月の運営について事務局から報告

第340回 7月15日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

添加物(2品目)	2-(3-フェニルプロピル)ピリジン、2, 3-ジエチル-5-メチルピラジン
----------	--

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (1品目)	ベンスルフロンメチル
------------------	------------

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(1品目)	2, 6-ジメチルピリジン
動物用医薬品 (2品目)	鶏コクシジウム感染症(ネカトリックス)生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca))の再審査、牛クロストリジウム感染症5種混合(アジュバント加)トキシイド(“京都微研”キャトルウイン-CI 5)の再審査

(4) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成22年6月分）について事務局から報告

(5) 食品安全関係情報（6月21日～7月2日収集分）について事務局から報告

第341回 7月22日（木）

(1) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

添加物専門調査会 (1品目)	5-エチル-2-メチルピリジン
動物用医薬品専門 調査会(1品目)	マイコプラズマ・ガリセプチカム感染症・マイコプラズマ・シノビエ感染症混合生ワクチン(ノビリスMGMS)

(2) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬(3品目)	アセフェート、エチプロロール、フルベンジアミド
---------	-------------------------

(3) 食品安全モニターからの報告（平成22年5月分）について事務局から報告

第342回 7月29日（木）

- (1) 食品に残留する農薬等に関するポジティブリスト制度の導入に係る平成22年度評価依頼予定物質について厚生労働省から報告
- (2) 飼料中の残留農薬基準を設定した食品健康影響評価依頼予定物質（平成22年度）について農林水産省から報告
- (3) B S E対策に関する調査結果等について厚生労働省及び農林水産省から報告
- (4) 各専門調査会における審議結果についての報告
 - ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 (2品目)	ノルフルラゾン、ベノキサコール
------------------	-----------------

- (5) 食品健康影響評価
 - ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

添加物(1品目)	トリメチルアミン
農薬(2品目)	アシフルオルフェン、ラクトフェン

- (6) 食品安全関係情報（7月5日～7月16日収集分）について事務局から報告

2. 専門調査会の運営

(1) 添加物専門調査会

第87回 7月27日（火）

- ・「2-（3-フェニルプロピル）ピリジン」及び「2, 3-ジエチル-5-メチルピラジン」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

(2) 農薬専門調査会

第64回 幹事会 7月14日（水）

- ・「エタルフルラリン」、「ベンフルラリン」、「ベノキサコール」、「イミダクロプリド」、「チオベンカルブ」及び「フロニカミド」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・「ノルフルラゾン」、「イソプロチオラン」及び「インダノファン」について調査審議し、評価書（案）を食品安全委員会に報告することを決定
- ・「シクラニリド」について調査審議し、毒性試験の内容についてさらに審議が必要と判断されたため、評価第四部会において審議することとなった
- ・「イミノクタジンアルベシル酸塩」及び「イミノクタジン酢酸塩」について調査審議し、2剤あわせて評価第三部会において調査審議することとなった

- ・「クロルピリホス」については、審議を行うにあたり、関係資料の整備等が必要であるため、今回は審議を行わなかった
- ・評価書評価の考え方について、現在、事務局にて案を作成している旨の報告があった
- ・暴露評価対象物質の考え方について、上路専門委員より、今後設置されるワーキンググループの構成委員等に関する説明がなされた

第1回 評価第三部会 7月28日（水）※非公開

- ・「MC P A」について調査審議し、継続審議となった

（3）器具・容器包装専門調査会

第13回 7月7日（水）

- ・生殖発生毒性等に関するワーキンググループにおいてとりまとめられた、「ビスフェノールA（B P A）に関する健康影響について中間とりまとめ」が報告され、B P Aの食品健康影響評価については現時点での知見からは耐容摂取量を設定することは困難であるが、本専門調査会としては、今後低用量に関する新たな知見が得られた時点で再度耐容摂取量について検討し、最終的な食品健康影響評価をとりまとめていくこととなった
- ・なお、上記中間とりまとめについては、要約を作成し、英訳した上で、海外に対して情報発信していくこととなった
- ・フタル酸エステルの今後の評価の進め方について審議され、次回の調査会において、フタル酸エステルの知見の概要及び評価における論点、方向性等について審議を行っていくこととなった

（4）化学物質・汚染物質専門調査会

第6回 幹事会 7月16日（金）

- ・「水道水により供給される水の水質基準の改正（トリクロロエチレン）」及び「清涼飲料水中の化学物質（水銀、シアン）の規格基準改正」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

（5）遺伝子組換え食品等専門調査会

第83回 7月23日（金）※非公開

- ・「VAL－No. 2株を利用して生産されたL－バリン」及び「除草剤グリホサートワタGHB614系統と除草剤グルホシネート系耐性ワタLL Cotton 25系統とチョウ目害虫抵抗性ワタ15985系統からなる組合せのすべての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した2品種を除く。）」について調査審議し、指摘内容を確認の上、評価書（案）を食品安全委員会に報告することを決定
- ・「アリルオキシアルカノエート系除草剤耐性トウモロコシ40278系統（食品・飼料）」について調査審議し、継続審議となった

(6) 肥料・飼料等専門調査会

第39回 7月28日(水)

- ・「対象外物質(イノシトール、コバラミン、チアミン、パントテン酸、ビオチン)」及び「動物用医薬品(セファロニウム)」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

サイエンスカフェ 第5話 誰でもなる!?食中毒を防ぐ調理を考える

7月5日(月) <東京都中央区>

- ・群馬県との共催により開催
- ・食品安全委員会畑江委員からの30分程度の話題提供の後、参加者の皆さんから、疑問や意見を自由に「コミュニケーションカード」に書いて出してもらい、その内容について意見交換を実施

食品安全委員会が自ら行う食品の安全性に関するリスク評価の対象案件候補の募集に関する意見交換会

7月30日(金) <東京都港区>

- ・事務局から食品安全委員会が自ら行う食品の安全性に関するリスク評価(自ら評価)の概要、案件候補募集の趣旨及びホームページ上で案件候補を募集している旨を説明
- ・参加者から自ら評価の案件選定の考え方や評価結果の活用事例等の質問があった後、具体的な案件候補の御提案を頂いた

(2) 講師等派遣

- ・地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

月 日	講演会名	対応委員
7月24日	第56回東海公衆衛生学会学術大会	小泉委員長